

〈いろいろな先輩がいる中で・・・〉



「私だって這い上がってきたんだから！」
「その苦しみをあなたも経験しなさい！」
「悩んでないで、やるしかないのよ！」
「先輩の背中を見て覚えるのよ！」
「私だって、細かく説明なんてしてもらってないし」



「一步一步上がっていきましょうね」
「疲れたら休憩が必要な時もありますからね」
「苦しくなる前に心配事があったら声をかけて下さいね」
「先輩が出来ている事と、今の自分を比べる必要なんてないですからね」
「積み重ね続けていくことが大切ですよ」



施設の理念や方針があります。それを踏まえて先輩職員が行動する事になっています。ですが、物事のとらえ方や実際の言動は先輩一人一人によってかなり違ってきます。介護をスタートした時「どの施設で働くか」よりも「どの先輩に教えて頂くか」が新人職員にとって大きな影響を与える場合があります。

そして先輩によって「やり方や教える内容」が違う場合があります。新人職員はどのやり方が正しいのか迷って、動きにくくなってしまいます。その都度質問し「どのようにすべきか」を先輩が調整を図ってくれればいいのですが、叶わない場合もあります。そのような場合新人職員は手探り状態で試行錯誤になりますが、利用者様の様子を良く観察し、より上手に対応出来ている先輩の行動を参考に、こまめに確認を取りながら、より良い介護を追求していくようになります。